

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成17年10月27日(2005.10.27)

【公開番号】特開2000-184385(P2000-184385A)

【公開日】平成12年6月30日(2000.6.30)

【出願番号】特願平10-358579

【国際特許分類第7版】

H 0 4 N 9/07

H 0 1 L 27/148

H 0 4 N 1/19

H 0 4 N 5/335

【F I】

H 0 4 N 9/07 A

H 0 4 N 5/335 P

H 0 1 L 27/14 B

H 0 4 N 1/04 1 0 3 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項10

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項10】

前記カラーフィルタは、行方向に4画素繰り返しの4色フィルタを有し、1行おきに第1色、第2色、第3色、第4色を配した場合、他の一行は第3色、第4色、第1色、第2色となるフィルタ配列である

ことを特徴とする請求項5記載の固体撮像素子。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項20】

前記カラーフィルタは、行方向に4画素繰り返しの4色フィルタを有し、1行おきに第1色、第2色、第3色、第4色を配した場合、他の一行は第3色、第4色、第1色、第2色となるフィルタ配列である

ことを特徴とする請求項19記載のカメラシステム。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

図1は、本発明の第1実施形態に係るCCD撮像素子を示す概略構成図であり、例えばIS(インターレーススキャン)-IT(インターライントランスクア)方式の単板カラ-CCD撮像素子に適用した場合を例に採って示している。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0023

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0023】

電荷検出部16は、例えばフローティング・ディフュージョン・アンプによって構成されている。すなわち、水平CCD14から信号電荷が注入されるフローティングディフュージョンFDと、電荷を排出するリセットドレインRDと、フローティングディフュージョンFDとリセットドレインRDとの間に配されたリセットゲートRGとからなり、水平CCD14から順次供給される信号電荷を検出し、これを信号電圧に変換する。リセットドレインRDには、所定のリセットドレイン電圧VRDが印加されている。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

図4は、センサ部11、垂直CCD12および読み出しひゲート部13の具体的な構成の一例を示す平面パターン図である。図4において、垂直CCD12は、垂直方向に平行に延在し、かつ水平方向に交互に配された転送チャネル210, 21eと、これら転送チャネル210, 21eの上方に垂直方向に順に配され、かつ水平方向に平行に延在する4相の垂直転送クロックV1~V4に対応した転送電極22-1~22-4とを有する構成となっている。転送電極22-1~22-4は、2ライン(垂直2画素)を1単位として形成されている。